

2024/7/19

準備委員会メンバー共有用

なんば広場 幹事会議事メモ

日時: 2024年7月19日(金)13:00~14:40

場所: 河原センタービル@準備委員会事務所

参加: 戎橋筋商店街 菊地氏、青木氏

なんさん通り商店会 木村氏、木本氏、丹野氏、菊澤氏

高島屋 藤原氏、井原氏

マルイ 田中氏

南海電鉄 寺田氏、平木氏、入江氏、北川氏、木本氏、廣田氏、稲元氏

HBP 泉、岸本、田中(記)

1. 今週の論点

(1) 広場の運営方針案について

(入江氏より経緯を説明)

- ・ほこみちの公募要項について大阪市で検討を始めている。準備委員会としてはこの公募要項に、取り組み方針や地元の考えを反映してもらう必要がある。大阪市より、公募要項の案を地元から出してほしいと言われており、事務局で案をとりまとめた。
- ・10月に公募予定とのことであり、大阪市からの正式依頼はまだだが、本内容について検討を進めていきたい。8月中には準備委員会から大阪市に提案したい。

(岸本より広場の運営方針案について説明。下記、特記内容のみ記載)

【地域環境保全活動】

- ・地域環境保全活動については、現在、既に行っているものをベースに記載している。

【利活用】

○利活用の理念 全体の使い方について

- ・「日常利用(滞留空間の創出)を主とし、年間を通じて土日祝日の50%以上は滞留空間とすること」については、社会実験②の期間中をこの割合で行い、その検証結果を大阪市と協議の上で、その後の割合を再度検討する予定である。

○利活用のイベント 警察協議・管理者協議のサポートについて

- ・現在イベントを行う際の警察協議については、警察から、計画調整局と準備委員会は参加するよう言われているが、1イベントあたり3~4回警察協議を実施しており、かなりの負担となっている。今後も社会実験②の期間までは準備委員会も各種協議に同席することを想定しているが、将来的にはイベント主催者のみで各種協議を実施する方向に移行していくことを目指す。

【財源確保】

- ・広告媒体については、大阪市としては設置位置、最大サイズを決めた上で、公募を出すとのことである。先日の Cyujo からの提案について、モックアップで現地検証後、決定することとする。
- ・地域情報発信については、「公共情報発信の割合が 1/10 を超えていることとする」としているが、デジタルサイネージを複数配置する場合は、総放映時間(1台あたりの放映時間×台数)の 1/10 以上としている。御堂筋ルールをもとに割合を記載しているが、社会実験②の終了後、再度割合について検討することとしている。
- ・本内容を大阪市に提案し、公募要項のたたき台として検討してもらう予定である。内容についてご質問やご意見、特に、利活用の理念の「滞留空間 50%以上確保」という点についてご意見をお聞かせいただきたい。

(決定事項)

- ・利活用の理念「日常利用(滞留空間の創出)を主とし、年間を通じて土日祝日の 50%以上は滞留空間とすること」については、「平日 50%以上、休日 50%以上」に変更する。
- ・対象場所は広場中央区域のみとし、イベント利用は、全面利用、半面利用のいずれの場合も1イベントとカウントすることとする。
- ・「地域連携」という項目を冒頭に追加し、本日の議論を踏まえて再度詳細内容を作成し、次回幹事会で再度議論することとする。

(下記、意見交換内容)

●地域連携について

- ・優先順位を作っておいた方が良くと思う。協議会に伝えることが一番大切なことである。(田中)
→地域環境保全の上に、地域連携の項目があった方が良くはないか。(藤原)
→そのように変更する。
- ・すべて協議会の了承を得るようにするのはどうか。(木村)
→それを大阪市に提案するのはあり得ると考える。(寺田)
→エリアとしてなんば広場を中心に環境の維持や、回遊性の向上を図っていくことについて協議会と連携していくことは必要である。(菊地)
→協議会の承認無くしてはできないということを記載するのが良いだろう。(木村)
→協議会は承認するのではなく、拒否権を持つということにするのが良い。(なんさん木本)
- ・地域イベントの優先度はどのように考えるか。(菊地)
→何をもって地域イベントとするかという話が出てくるだろう。(入江)
→協議会が共催・後援するもの、と整理するのはどうか。(菊澤)

→その場合、大阪市からはその基準を求められる可能性がある。(入江)

→大阪市に意向は伝え、検討してもらうこととする。

●利活用の理念「年間を通じて土日祝日の50%以上は滞留空間とすること」について

・100%イベントが実施されていることが望ましいと考えている。(木村)

→そうした場合、イベント開催が得意な電通などの企業が応募してくる可能性が高くなる。収入が増加し、地域環境保全への還元も増加する提案が出てきた場合に、大阪市がそちらを選ばざるを得ない状況になる恐れがある。(入江・岸本)

→3連休はテラスベンチに所狭しとカップルが座っていた。そのような需要もあると思う。(藤原)

→椅子を変更してからかなり風情が良くなっている。常にイベントがなくてもよいと思う。(井原)

・ほこみちの占用料の計算上、イベント100%実施だと占用料が高くなるのではないかと。(井原)

→今後の協議の中でそのようになる可能性がある。確かに占用料の話とリンクする。(入江・泉)

・広場のコンセプトを前提に話をする必要がある。50%を厳密に決める必要があるのか。(菊地)

→大阪市としては地元の思い(憩いと賑わい)を尊重したいとは思っているが、根拠となる数字を書いてほしいということであったため、設定しているという状況である。(岸本)

→30~60%などと幅を持たせた内容とする場合、イベント誘致が得意な電通などが入ってくる可能性があるため、大阪市としては明確に出してほしいと言われている。(入江)

→平日50%、休日50%とするのが良いのではないかと。(菊澤)

→広場のコンセプトに立ち返り、休日も憩い空間を提供したいかどうかということだと思う。1年ほど前も同様の議論を行い、当時は収入を得る必要があることから、まずは上限は設定せずに実施しようということだった。現在はCyujoの提案から、土日祝日に100%イベント実施しなかったとしても、収支が成り立つ可能性が見えてくるのが以前の議論と違うところである。(泉)

→儲けようということではなく、賑わいを創出しようということである。(木村)

→今の滞留の状況も十分にぎわっていると考える。(井原)

→イベントがあればその周辺にも回遊する可能性が高いのではないかと。(木村)

→将来的にはなんさん北側も含めて考えたら良い。(菊澤)

→まずはほこみち社会実験期間は今回の案で進め、その後また検討しなおしたら良い。イベントを理由に人が集まるというはある。遠方から椅子に座ることを目的には来ないだろう。休憩する人はいると思うが、公園ではないため、我々は開放してあげているというスタンスではないか。(なんさん木本)

・これは広場中央区域のみの話になるのか。(菊地)

→マルイ前、なんさん北は別の考え方になる。(入江)

→半面利用やスポット利用の考え方も入れておく必要がある。(菊地)

→警察から半面でイベントを実施した際に、残り半分の空間に机椅子を設置するパターンをまだ許可してもらえていないため、全面利用、半面利用も1と考える。(スポット利用は別)。(岸本)

●公募について

・大阪市で公募要項を検討したあとは、また我々に教えてもらえるのか。(菊地)
→公募の内容を知ってしまうことになるため、その可能性はないと思われる。(泉)

・ほこみち社会実験期間についてはいつ決定するのか。(菊地)

→8月中までにこちらの意思は示し、行政がそれを踏まえ10月に公募開始するため、その時期も判明する。ただ、大阪市は1年は短すぎるということを気にしており、公募の結果、準備委員会しか手を上げなかったのは良いが、準備委員会のみしか手を上げられないような公募内容になっているのは良くないとの見解である。検討は計画調整局が行っているが、公募主体は建設局となる。(入江)

・落札で決定するのか。(田中)

→ほこみち公募の場合は金額ではなく内容で判断される。(入江)

●その他

・交通警備の項目も記載する必要があるのか。(平木)

→大阪市からは治安維持と交通警備の話も一旦入れてほしいと言われている。(岸本)

→費用負担がかかるため別の話だが。(平木)

→備考として大阪市が実施することを記載しているが、実際は公募の項目には入らないか、大阪府が実施することを明記した上で記載されることになるだろう。(泉)

(2)その他

●デジタルサイネージのモックアップ検証実施について(廣田氏より報告)

・本日実施予定であったが、にぎわいスクエアの準備で現地確認ができないため、来週7/26(金)13:00~(広場戎橋筋商店街入口付近集合)で実施することとする。

●なんばらラボ vol2 の開催について(岸本より報告)

・第1回の馬場氏の講演に続き、下記の通り2回目を実施することとする。(前回同様、一般参加者も募集予定。)

日 時:8月23日(金) 18:30~20:30、その後軽く懇親会

場 所:河原センタービル3F会議室

登壇者:寺浦 薫/(株)E-DESIGN アート&コミュニケーション部 ディレクター

高島屋 中村副店長、藤原氏

●7/14 陸渡御による点字タイトルの破損について(廣田氏より報告)

- ・難波八阪神社による7/14 陸渡御の地車運行により、なんば広場の点字タイトル、なんさん通りのアスファルト部分に傷が付いた。広場では回さないようお願いしていたが守られなかった。今後、鉄の車輪(太鼓の車)を変更してもらうことや、転回場所を変更するなどの検討が必要である。

●机椅子の風対策について(廣田氏より報告)

- ・7/10 に机椅子を設置したが、午後から風が強くなり、端に固めて一時避難をさせた。風速を確認したところ 7m であり、今後も天気予報を確認し、風の強い日は端に寄せるなどの対応を行っていく必要がある。

→マルイの警備2名に伝え、そのような事態があればすぐ南海に連絡がいくようにする。(田中)

→このような事態が今後も想定される。将来の会社設立も見据えて、我々のように本業務が別にある者ではなく、専属のスタッフ(最初はアルバイトか)を準備委員会として雇うことも検討が必要だと思うため提案する。(菊澤)

●なんさん車道舗装材モックアップ確認の日程調整(平木氏より報告)

- ・8/2(金)10:00～で調整中。市の都合を確認し、最終決定とする。(→幹事会后、本日程で決定)

●自転車押し歩き啓発活動について(平木氏より報告)

- ・7/23(火) 14:20～14:50 で実施予定。

2. 広場のイベント予定

- ・7/20(土)～21(日):大阪ミナミ夏祭り&にぎわいスクエア 2024
(主催:中央区/共催:(一社)活性化事業実行委員会)
- ・7/25(木)～8/21(水):LINES の設置(シビックプライドシンボルの設置検証)

3. 今後の日程

- ・8/2(金)13:00～15:00 幹事会・未来会議(調整中)@準備委員会事務所(河原センタービル)
- ・8/23(金)13:00～15:00 幹事会@準備委員会事務所(河原センタービル)

以上